

# のぼりべつ

の 広報

人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ

1月15日(日)、登別マリンパークニクスを会場に平成10年登別市成人祭が行われ、535人の新成人が出席しました。

今年の新成人該当者は、男性493人、女性386人の879人。

ドルフィン館で行われた式典では、新成人代表から「自分を磨き、何事にも積極的に取り組んでいくことを誓います」と三十歳の誓いが述べられました。



特集

## 21世紀を見つめた行政改革

1998 No. 568  
2 / 1

# 21世紀を見つめた 行政改革

都市銀行や証券会社が相次いで破たんし、「銀行はつぶれない」といった私たちの常識というドアが、時代という訪問者に激しくたたかれています。経済問題、高齢化・少子化問題など、時代の訪問者に対応するため、行政ではさまざまな改革が行われていますが、私たちのまちでは、どのような行政改革が行われ、どのような問題があるのでしょうか。

## 逼迫している市の財政状況

行政の役割は、市民が安心して暮らしていくことのできるまちづくりを進めることにあります。

しかし、まちづくりにはどうしても財源が必要となります。

登別市の財政状況は、年に2回、「広報のほりべつ」で市民のみなさんにお知らせしていますが、市の歳入（収入）・歳出（支出）を見て、みなさんはどう思いますか。

市の平成8年度決算では、歳入は216億9千183万円、歳出は214億4千238万円、その歳入の1割は市債（長期借入金）です。返済しなければならぬ債務の総額（未償還元金）は、歳入の約1・4倍の305億9千255万円に達しています。

歳入の内訳を見ると、市税が約25%、地方交付税が約21%、国・道からの支出金が23%と、市税収入は歳入全体の4分の1にすぎません。

歳入が増えれば、それだけいろいろな事業を行うことができますが、市税

## 行政改革の取り組み状況

### 事務事業の見直し

#### ① 財登別市文化・スポーツ振興財団の設立

文化・スポーツの普及と振興のため、平成8年3月、財登別市文化・スポーツ振興財団を設立しました。

#### ② 町内会への助成事業の見直し

町内会活動を支援するため、平成9年度から新しい基準に基づいて、町内会への助成金を交付しています。

#### ③ 圧着貼り合わせはがきの導入

郵送料の削減やプライバシーの保護などのため、税などの口座振替の領収書や督促状、催告書の送付に、平成8年度から圧着貼り合わせはがきを導入しました。

#### ④ いきいき推進奨励事業の創設

平成9年度に、地域おこしイベント事業を支援する「いきいき推進事業補助金制度」を創設しました。

9年度上期の実績としては「21世紀まちづくりシ

#### ⑤ 自主文化事業の見直し

平成8年度から、自主文化事業の一部を（財登別市文化・スポーツ振興財団に移行し、より優れた芸術・文化を市民のみなさんに提供しています。

#### ⑥ 小・中学校配置の見直し

児童・生徒数の減少が見込まれる市内の小規模校については、教育効果を高めるため、移転・統合を検討しています。札幌小中学校については、平成10年度から幌別小学校、幌別中学校へ統合することとし、事務手続きを進めています。

#### ⑦ 市立幼稚園の見直し

また、登別温泉小学校、登別温泉中学校については、移転・統合に伴い、通学路の確保などの問題が提起されており、今後とも地域のみなさんと協議を進めます。



▲2月12日（土）に開催されるアイヌ詞曲舞踊団「モシリ」公演

▼補助事業のひとつ「のほりべつ舞・舞・舞」



# 21世紀を見つめた 行政改革

の大幅な増額にその答えを求めざるわけにはいきません。また、返済能力を無視して借金を重ねていくわけにもいきません。

しかし、私たちがこのまちで暮らしていくためにはどうしても行わなければならない事業があります。高齢化・少子化社会に対応するための基盤づくり、教育環境の整備、道路や公共下水道・ごみ処理施設など都市基盤の整備充実など、数えあげたら切りがありません。また、そういった事業はやめるわけにはいかないのです。

それでは、どうすればいいのでしょうか。私たちの家庭に置き換えて考えてみれば、答えは簡単です。家計を切り詰める。これしかないのではないのでしょうか。無駄なものは省き、現在、そして将来必要となるものにお金をかけていく。それが「行政改革」です。行政改革は、財源のみに着目して行政の仕事が減らすだけのものではありません。

創設・設置したときには効果的だった制度や設備の在り方を見直し、これから必要となる新たな制度や設備について検討していくことも行政改革の重要な役割です。

## 市民の立場に立った 行政サービスを目標として

登別市では、昭和60年に市長を本部長とする「登別市行政改革推進本部」と市民の代表である「登別市行政改革推進委員会」を設置し、大幅な増額が見込めない財源と限られた人員の中で

どのようにまちづくりを進めていくべきかを、さまざまな観点から検討して行政改革に取り組んできました。

しかし、バブル経済が崩壊し、社会全体の先行きが不透明となった昨今、国では地方分権や規制緩和など既存の制度や政策の見直しが論議され、地方では真に市民の立場に立った適切な行政サービスを行うためのスリムで効率的な運営体制づくりの実現に向け、さらなる見直しを行う必要が出てきました。

そこで市は、平成7年11月に、平成8年度からおおむね5年間で取り組む具体的な内容として「行政改革実施計画」をつくりました。

## 行政改革実施計画

「行政改革実施計画」は、経済団体や教育関係者、町内会、文化、体育、福祉などさまざまな団体から選ばれた「登別市行政改革推進委員会」（平成6年12月設置）で審議された「登別市行政改革基本方針」（平成7年2月策定）に基づきつくられました。

計画では、実施事項を次の六つに分けて実施していくこととしています。

### ① 事務事業の見直し

効率的に事業を実施し、市民サービス向上の観点から民間委託、事務手続きの簡素化、効率化などを図り、常に市民ニーズや時代の流れを把握し、見直しを行います。

② 時代に即応した組織・機構の見直し  
時代に即応した組織・機構に再編成

朽化が進んでいゑるため、児童の受け入れ体制や公私格差の是正など、私立幼稚園との関わりの中で、廃園の方向で検討しています。

### ⑧ 保育所の見直し

市内8カ所の保育所は、その一部で大幅な定員割れが生じているため移転改築も考えながら保育所の統廃合を検討しています。平成8年度では、美園保育所を鷺別保育所に統合しました。今後は、新たな保育施設を設置を考えながら、登別温泉・登別・富浦保育所の統合を検討しています。



また、保育事業の充実のため、平成8年度から鷺別保育所の延長保育を始めたほか、室蘭市や白老町の児童の相互受け入れなどについても検討しています。

### ⑨ 鉱山簡易郵便局の見直し

鉱山簡易郵便局は、利用度が少ないため、地域住民と協議し、平成8年3月末に廃止しました。

### ⑩ 鉱山バスの見直し

鉱山バスは、利用度が少ないため、地域住民と協議し、平成9年3月に廃止しました。

### ⑪ 各種使用料・手数料の見直し

各種の使用料金について、平成8年

度では、し尿処理手数料、集会施設使用料、水道料金の改正を行いました。平成9年度は、市営住宅使用料を改正し、平成10年度では、



▲市営登別温泉団地

下水道使用料の改正を予定しています。  
⑫ 行政手続制度の適正な運用  
行政運営の公正の確保と透明性の向上を図り、市民の権利・利益を保護するため、平成9年3月「登別市行政手続条例」を制定し、7月1日から施行しました。

### ⑬ 民間委託の推進

業務効率や市民サービスの維持などを総合的に判断しながら、民間委託を計画的に進めています。平成8年度からは、市民会館・総合体育館・市民プールを、平成9年度から市営プールの管理業務を（登別市文化・スポーツ振興財団に委託しました。

今後は、陸上競技場・





▲平成9年12月22日に開かれた『登別市行政改革推進委員会』

するため、市の組織・機構の総点検を行い、当初の目的が終了した課や係を廃止するなど統廃合を進めます。

③定員管理と給与の適正化推進  
市民のさまざまな要望に対応するため、事務事業や組織・機構を見直し、適正な定員管理を進めるほか、給与の適正化に努めます。

④効果的な行政運営と職員的能力開発などの推進  
まちづくりが進んでいくに従って新たな仕事が増えます。時代の変化に対応できるように研修などで職員の質を向上させるとともに、人材の育成や確保に努めます。

⑤行政の情報化の推進などによる行政サービスの向上  
パソコンなどを導入し、事務の効率化・高度化を図り、行政サービスの充実を進めます。

⑥会館などの公共施設の設置と管理運営  
各地域にある会館など公共施設の役割、機能、運営方法の再検討を行います。

## 最小の経費で最大の効果を

行政改革では、行政機能などの総点検を行いながら抜本的な改革を進め、最小の経費で最大の効果を目指します。会館や道路の整備などに限らず、使用料や手数料の在り方など、私たちの生活に直結したのもも行政改革の対象となり見直しが行われます。

また、これからは、国の財政構造改革や行政改革などを見据え、地方分権時代にふさわしい新たな視点をもって『登別市行政改革実施計画』の見直しを進めていく必要があります。

市では『登別市行政改革推進委員会』を設置し、市民の声を取り入れていますが、それで万全というわけではありません。市民のみなさんの理解と協力が不可欠なのです。

「私には関係ないわ」。そんな悲しいことを言わないでください。

今、市が進めているまちづくりは、どこかの遠いまちではなく、私たちが住んでいるこの『まち』なのです。

▼行政改革についてのご意見・ご要望  
行政改革推進室（☎5109）  
▼まちづくりについてのご意見・ご要望  
企画広報室（☎1122）

岡志別の森運動公園・青少年会館・川上公園野球場などの管理委託を検討しています。

## ⑩広域行政圏の活用

登別市・室蘭市・伊達市の3市による共同プロジェクトの検討作業などの体制づくりをより一層進めます。現在、下水道汚泥処理に関する共同研究、ホームヘルパー養成研修、広域住民票交付や図書館情報ネットワークづくりの可能性の検討、3市図書館の相互利用、北海道



▲登別市立図書館

## ⑪補助金などの見直し

各種団体や事業に対しての補助金・助成金などについては、時代の変化に合わせて、支援の目的や自主自立の可能性、行政効果などを総合的に判断し、平成8年度に、補助金等整理合理化に関する基準を作成しました。これに基づき平成9年度から新基準により補助金などの整理合理化を行っています。

## ⑫一課一事業の見直し

現在の社会情勢や行政効果などの観点から、定期的に各課ごとに自らの業務を見直すことを制度化しました。

## ⑬情報公開条例の制定

公文書の公開を求める市民の権利を

明らかにし、市政に関する情報の公開に関し必要な事項を定める情報公開条例については、平成10年3月の制定に向け作業を進めています。

## ⑭個人情報保護条例の制定

個人情報保護の適正な取り扱いに関し、必要な事項を定めるとともに、行政が保有する個人情報の開示などを請求する権利を保障する個人情報保護条例については、平成10年3月の制定に向け作業を進めています。

## ⑮消防庁舎の新築移転と分遣所の見直し

消防本部、本署、分遣所など消防施設が老朽化し手狭なため、防災機能を備えた消防庁舎の新築移転に合わせ、幌別、富士、美園分遣所の見直しを進めています。

## ⑯固定資産家屋評価システムの導入

平成9年度から、すべて手作業で行っていた家屋評価事務について、作業時間を大幅に短縮できるシステムを導入し、事務の効率化を図りました。

## ⑰伝票審査事務の合理化

審査機能や事務の効率化を高めるため、財務会計制度を見直しながら業務のシステム化を検討します。

## ⑱市債、債務負担台帳のO/A化

市債の管理事務は、民間に委託していましたが、年々委託料が増加する傾向にあるため、平成8年度から市債や債務負担台帳をパソコンで処理するシステムの導入を行い、経費の節減を図りました。

## ⑲独居老人の緊急通報システム導入の

## 見直し

これまでの独居老人の緊急通報システムを平成8年度から新しいシステムに変更し、内容の充実を図りました。

### ④管工事設計積算事務のO/A化

平成9年度から、すべて手作業で行っていた水道の管工事設計事務について、作業時間を大幅に短縮できるシステムを導入し、事務の効率化を図りました。

## 時代に即応した

### 組織・機構の見直し

#### ①組織・機構の見直し

時代に合った組織・機構づくりを行うため、総合調整機能と横断業務処理体制の充実、応援体制の確立などスリム化を図るとともに、新規事業の業務量などを考えながら、毎年度組織・機構の見直しを行っています。

#### ②調整機能の整備

一部一課では処理できない業務や、市が全庁的に取り組まなければならない業務に的確な対応するため、平成8年4月に横断業務調整組織要領を定め、協議体制を整備しました。

#### ③外郭団体などへの職員派遣の見直し

他の団体などへの職員派遣は、その目的と効果を常に考えながら、派遣期間や終期の設定を行っています。

#### ④地区防災担当職員の設置

災害時にお年寄りなどの弱者を避難・誘導するため、平成8年5月に登別市地区防災担当職員設置要綱を定

め、市職員を防災担当員として津波・がけ崩れなど危険区域ごとに設置しました。

### ⑤職員の流動体制の整備

部や課を超えた相互応援を円滑に行うため、平成8年4月に登別市職員の流動体制要綱を定め、臨時的流動体制を確立しました。

## 定員管理と給与の適正化

### 推進

#### ①職員定数の見直し

職員数は、平成12年度の目標を570名として削減を図ります。

なお、地方分権などによる業務量の増加が見込まれる時点では、適宜修正を行います。市の職員数は、平成7年4月の500名に対し、平成8年4月は583名、平成9年4月では581名となっています。

#### ②給与制度の見直し

国家公務員の支給基準との比較を行うとともに、他市の状況を考えながら諸手当などの見直しを行っています。

## 効果的な行政運営と職員の能力開発などの推進

### ①職員参加の目標による行政運営

職員それぞれが、より効果的に業務を推進するため、平成8年4月に登別市職員参加の目標による行政運営実施要綱を定め、事務執行の体制づくりに取り組んでいます。

### ②職員の能力開発などの推進

職員の政策形成能力や創造的能力を開発するため、現行の研修のほか、民間企業との合同研修、テーマを定めた管理職研修、若手職員のグループ研修などを行い、職員の意識と能力の向上を図っています。

## 行政の情報化の推進などによる行政サービスの向上

### ①O/A基本計画の見直し

社会情勢の変化に対応し、地域の情報化を一層推進するため、平成9年4月「登別市行政情報化の指針」と「情報基盤の整備計画」を作成し、本計画を基にパソコンを計画的に導入するなど、O/A化を推進しています。

### ②窓口サービスの向上

窓口サービスの向上と利便を一層高めるため、

▼個別支所の分室が設置されている「若草つどいセンター」



市役所本庁舎では平成8年4月より総合案内を設置しました。平成9年度には、若草つどいセンター内に個別支所の分室を設置し、住民票や戸籍謄抄

本などの発行事務を行っています。本庁の4カ所の窓口では、平成9年8月から試行的に毎週木曜日19時まで時間延長しています。

また、平成9年6月に、公営住宅入居者のプライバシー保護の観点から、本庁舎内に相談室を設置しました。

## 地区別懇談会の実施

### 市民の声

が生かされる市政を推進するため、平成8年度から部長職職員による地区別懇談会を実施しています。



## 会館などの公共施設の設置と管理運営

### ①会館などの公共施設の適正な管理運営

会館などの公共施設については、施設の在り方や配置箇所などについて示した公共施設の整備方針に基づき、類似施設の統廃合を図りながら、効率的な管理運営を進めるとともに、民間委託が可能な施設の管理委託を進めています。



李尚倍さん

12月17日(水)、自治体職員協力  
交流事業の研修員として、昨年  
7月から半年間、市観光課で観  
光行政を中心に研修を積んでい  
た韓国光州廣域市職員の李尚  
倍さんが「登別市ふるさと大使」  
(通称・鬼大使)として委嘱さ  
れました。登別をPRする「鬼  
大使」は、首都圏などで活躍す  
る市出身者や登別にゆかりのあ

## 韓国で登別を宣伝します

る方に委嘱しているもので、平成  
4年から行われています。この委  
嘱で李さんは通算37人目、外国人  
では5人目の鬼大使になりました。  
市長から木彫りの鬼の面が付  
いた委嘱状とハンケルで書かれた  
鬼大使の名刺を受け取った李さん  
は「市民のみなさんとのふれあい  
や自然の豊かさなど、登別で過ご  
した半年間は一生忘れられない思  
い出になりました。韓国に帰った  
際には、多くの人に登別の良さを  
知ってもらうために宣伝活動をし



ていきたいと思えます。今後、  
登別と韓国の交流の輪が広がる  
ようになればうれしいですね。  
夏になったら家族を連れて遊び  
に来ますよ」と滞在中の感想と  
今後の抱負を語っていました。

# 走

## わが家の自慢の味を披露します

1月13日(火)、「第21回  
つけものフェスティバル」  
つげものフェスティバル」  
が市民会館で開催され、わが家  
の自慢のつけものを競う「つけ  
ものコンクール」や登別物産会  
による展示・即売会が行われま  
した。

# 西

コンクールでは、「か  
すづけ」24品、「ぬかづけ」  
32品、「さかなづけ」18品、  
「かすみそづけ」20品、「ア  
イデアづけ」27品など、  
各部門から計121品の出品

第21回つけものフェスティバル



があり、30人の審査員が塩加減や  
色、香りなどを一品ずつ味わいな

がら審査しました。特に、化学  
調味料や添加物の有無について  
審査の重点が置かれ、各部門ご  
とに優秀者18人が表彰されまし  
た。

表彰式終了後には、各受賞者  
からつけものをつける手順や味  
付けのコツなどについて説明が  
あり、受賞者の中には、道外か  
ら材料を取り寄せている方や1  
年以上も前からこの日のために  
準備をしていた方もいました。  
会場に詰め掛けた約450人の市  
民は、おいしいつけもの作り  
方聞きながら、出品されたつ  
げものを試食していました。

## 待ちに待ったリンク開き



1月11日(日)、青葉多目的広場  
で「青葉スケートリンク開き」  
が行われ、児童や父母ら約100  
人が参加しました。

このスケートリンクは、地域  
町内会や青葉小学校教職員・P  
T Aなどで構成される実行委員  
会が、子どもたちの冬の体力づ  
くりのために毎年水をまいてつ  
くっているもので、今年で11年  
目。

「例年、クリスマス前後にリ  
ンク開きを行ってきましたが、  
年末の暖冬のため約2週間遅  
れての開催となりました。リン  
クは2月10日ぐらいまで使え  
ますので、地域の方に限らず、  
どなたでも気軽に使ってほし  
いですね」と亀山聖実行委員長  
は話してくれました。



1月9日(金)、12日(月)、13日(火)  
の3日間、登別マリンパークニ  
クスで第1回目が、14日(水)には  
市民会館を会場に第2回目の  
『イルカ博士講座』が開催され、  
市内の小学3・4年生30人が参  
加しました。

この『イルカ博士講座』は、  
教育委員会が登別マリンパーク  
ニクスの協力を得て開催する  
『博士講座』の第2弾として行  
われたもので、なじみのある生  
き物に触れることで、命や自然  
の大切さを学ぶというもの。

子どもたちは、マリンパーク  
でイルカのショーを見た後、ス  
テージが上がって、イルカに触  
ったり握手をしたりと、めった  
に味わうことのできない貴重な  
体験に満足そうでした。

イルカさんと友達になっちゃった!

祭

祭

12月18日(木)、鷺別保育所でクリスマス会が開かれ、1カ月ほど前から練習してきた85人の子どもたちによる歌や楽器演奏、劇などがお父さん、お母さんたちに披露されました。

4歳児による劇『のんびりサンタさん』は、のんきなサンタクロースのプレゼント配りを、動物たちがお手伝いするといい心温まる物語。サンタクロースやうさ

### サンタさんごもありがとう！

ぎ、りすなどの衣装を身に着けた子どもたちの熱演に、会場は大きな拍手に包まれました。会の終わりに、児童のおじいさんがふんするサンタクロースが大きな袋をさげて登場。待ちに待った子どもたちは、全員で『ねほすけサンタクロース』を合唱し、サンタクロースを歓迎しました。「サンタさんはどこから来たんですか」「トナカイは空を飛べるんですか」など、子どもたちのかわいらしい質問にサンタさんはたじ



たじ。一人ひとりに手渡されたバズルやヨーヨーなどのプレゼントを手に、子どもたちは一足早いクリスマスを楽しんでいました。

### 火災からまちを守るために！

1月7日(水)、市民会館駐車場を会場に『平成10年登別市消防

出初め式』が行われました。

この日は、朝から凍てつくような寒さと吹雪のなか、市消防職員や昨年新たに任用した女性消防団員、市内6分団の消防団員ら計173人が参加したほか、昨年導入したはしこ付き消防ポンプ自動車などの消防車両16台、陸上自衛隊札幌駐屯地の消防ポンプ車が参加しました。

消防職・団員は、会場内を分列行進したあと、市長の観閲を受け、今年1年間の消防活動への意気込



みを見せました。観閲後、市民会館中ホールで行われた式典では、長年にわたって消防活動に携わってきた消防職・団員の功労に対する表彰式が行われました。

### 学生生活って楽しいですよ！

12月18日(木)、市民会館大ホールで登別市老人大学・婦人短期大学合同学習会『年忘れ演芸会』が行われ約400人の学生が参加しました。

この年忘れ演芸会は、合唱グループやはなし家などを招き、楽しく心豊かに新年を迎えようと昭和55年から行われているもので今回で18回目。

参加した学生たちは、第1部の文化協会コーラス部『ボニークラック』と『女声コーラスしおさい』による美しい合唱で一年の疲れをいやし、第2部の落語では東京から招いた立川ぜん馬師匠の愉快な話で大いに笑い、新年に向け気持ちを新たにしていきました。

また、大ホール前では『老人大学出前文庫』が行われ、市立図書館から持ち込まれた約40冊のさまざまな本を借りる学生の姿が見られました。

昨年、老人大学に入学し、学生生活を楽しんでいる米田恵美さん



米田恵美さん

は「毎月1回の学習会は本当に楽しみです。今日は落語を生で聞くほかにも、この老人大学出前文庫で本を借りるのも楽しみの一つです」と話してくれました。この『老人大学出前文庫』は、老人大学の全体学習会に併せて平成3年4月から市民会館を会場に年6回程度行われています。平成9年度には4月・7月・11月・12月・1月に行われ、今月は27日(金)に予定されています。本は老人大学学生に限らず、一般の方も借りることができますので詳しくは市立図書館(☎854324)に問い合わせください。



立川ぜん馬師匠



老人大学出前文庫

# いきいき ボランティア

## 『ボランティアの意識革命を！』



「ボランティアは、偽善や遊びなんかじゃありません。ボランティア活動をしていると、ボランティアに対して偏見を持っている方にお会いすることが多いんです。そんな偏見を無くし、ボランティアというものを正しく理解してくれる人が、少しでも増えるといいですね」と語る登別南高校2年生の飯沼聖子さん。

飯沼さんは、高校でボランティアサークルを設立し、手話の勉強やバス停留所の清掃活動などを続けるほか、1月10日(土)に似た21で開催された「ヤングボランティアアフォーラム'98」の実行委員長を務めました。

この「ヤングボランティアアフォーラム」は、登別・登別大谷・登別南高校などの生徒が実行委員会を組織し、中・高校生を対象に車いすの体験試乗や討論会などを



通してボランティアについて考えたいというもので、今年で2回目。

「今回のフォーラムには、約100人の中・高校生が参加してくれました。ボランティアとは「やってあげる」ものではありません。心と時間の余裕を利用してお互いに学び合い、すばらしい人間関係を築いていくのがボランティアだと思います。来年は受験なので、実行委員会には参加できないと思いますが、相談役として手伝っていきたいと思います。将来は医療関係を学び、青年海外協力隊に参加したいと思っています。ボランティアはずっと続けていきたいですね」と話す飯沼さんの情熱は世界を目標に熱く燃えています。

▼ボランティアについての問い合わせ  
登別市社会福祉協議会ボランティアセンター  
(☎2080)

### ちょっとひとこと

楽しかったこと、悲しかったこと、うれしかったこと、市への疑問や意見・要望などを企画広報室へ電話やはがき、封書、ファクスでお寄せください。

企画広報室 中央町6-11 ☎1122 FAX☎1108

### 地域ぐるみで子育てを！

広報のほりべつ12月1日号の特集「未来を映す時代の鏡」を読みました。

少子化は深刻な問題だと思います。子どもが減っていくという現象に歯止めを掛けることはできなくても、対応を考える時間はまだまだあります。働く女性が増えているのも少子化の原因の一つだそうですが、役所だけではなく企業でも社内に託児施設を設けるとか対応を考えてほしいものです。

私たちが子どものころは、少子化なんて考えたこともありませんでしたが、今では家の外から聞こえてくる子どもたちの楽しげな声を聞くことも少なくなりました。

子どもは未来を映す時代の鏡。確かにそのとおりだと思います。そして、子どもは大人を映す鏡でもあります。目を覆いたくなくような少年少女の犯罪が増えています。子どもの数が減ってきているのに悲惨な犯罪は

### ちょっとひとこと

8

### 真っ白な雪を汚さないで！

年末になってやっとなというか、ついに真っ白な雪が本格的に降ってきました。

朝起きて、家の前に降り積もった雪と冷たい空気はすがすがしい気持ちにさせてくれます。

でも、必ずといっていいくらい不快な気分も同時に味わいます。真っ白な雪が黄色くなったり、ときには茶色のふんが雪の中から顔をのぞかせているのです。犬を散歩させるのは決して悪いことではありません。

だからといって人の家の玄関前を汚していくことはないじゃないですか。雪の無いときでも飼い主のマナーの悪さにはあきれますが、美しい雪の上ではなおさらです。犬の飼い主の方、雪のような美しいマナーを！

(新生町 主婦)

### ちょっとひとこと

紙面上では匿名でも氏名、住所、電話番号をお知らせください。なお、個人や団体への中傷や営利を目的としたお話はご遠慮ください。

### ちょっとひとこと



# 仲間たち

登別川柳社

主幹 小林 勉さん

(☎011-2194)

## 『楽しみながら自分を磨く17文字の世界』

『登別川柳社』は、川柳を愛好する11人の有志により、昭和47年に結成されました。発足25周年を迎えた現在の会員は、30代から80代までの65人。

結成以来「市民に川柳の輪を広げよう」をモットーに、毎月発行してきた会報『川柳のほりべつ』は、平成9年11月号で30号を数えました。

『川柳は5・7・5の17文字で一つの句をつくります。近年は人の心を描写した作品が多くなっていますね。会では毎月1回例会を開き、作品をみんなで評価し、優れた作品を『川柳のほりべつ』に登載するんです。毎月、自分の力が試されるので楽しくもありませんが、逆に励みにもなるんです。川柳はやればやるほど奥が深く難しいですね」と語る小林さん。



年度賞を設け得点を競い合うなど、会員が上達するよう工夫し、毎年開催されている北海道川柳大会には、多くの会員が入賞しているそうです。

「まずは楽しみながら句をつくってみることでいい。続けていくうちに自分を磨くことにもつながってきます。できれば若い人たちにもっと参加してほしいですね」と小林さんは話してくれました。

入会を希望する方は小林さんまでどうぞ。

# からび

優雅な美しさをお菓子で表現

## 『北国がんび』

～(有)かめや

(驚別町)

「製品としてできあがるまでに3、4年かかりました。試行錯誤の末に完成したのがこの『北国がんび』です」と語るのは社長の亀谷隆雄さん。

「がんび」とは、北海道の雄大な大地に育つ樹木のなかで、その雪のような樹肌が際立って美しい白樺の別名です。

昭和36年の創業以来、よりおいしい菓子の味を追求し続けている(有)かめや。



優雅で美しい白樺をイメージした風雅なお菓子『北国がんび』は、昭和46年から販売され、その年の全国菓子大博覧会では大臣賞を受賞しました。

厳選された豆を原料にした白あんに、きざんだ栗を入れ、アルミ箔に包んで焼き上げる『北国がんび』は、しっとりとした風合いが持ち味です。

「皮とあんには道産バターを入れています。年配の方にも抵抗なく食べていただけるようさっぱり

りとした味に仕上げられています。バターのみならず、やさしさを引き出すために工夫されています。これが企業秘密です。お茶菓子や贈答品として本州の方からも注文がありますよ。特に贈答シーズンになると、生産が追いつかないほどです。また、製品は防腐剤を一切使っていませんが、空気に触れないよう工夫していますので、3週間くらいなら持ちますよ」と話す亀谷社長。

「北国がんび」の箱詰めは8個入り、15個入りがあります。購入希望の方は問い合わせください。

▼問い合わせ (有)かめや(驚別町) 3丁目20-10 ☎011-7606

# あすなろ

## 鈴木恵理さん

(22歳)

ジャパンスイミングスクール登別勤務



若草町のジャパンスイミングスクール登別で、水泳の指導をしている鈴木さん。

小学4年生から水泳を始め、高校2年のときにはインターハイ(全国高等学校総合体育大会)全道予選「団体の部」で優勝し、全国大会に出場した経歴の持ち主。高校を卒業すると同時に、現在の水泳指導の仕事に就き、今年で5年目を迎えます。

「子どもからお年寄りまで、幅

広い年代の生徒さんに泳ぎ方を教えています。水泳はどうしても苦手という人もいますが、水に対する恐怖心さえなくなれば、だれでも泳げるようになるんですよ。一番うれいのは、スクールに入ったときに泳げなかった生徒さんが、練習を積んでいくうちに泳げるようになったときですね。そのときは一緒に喜んで喜ぶんですよ」と話す鈴木さんは、水泳の楽しさを教えてくれる水先案内人です。

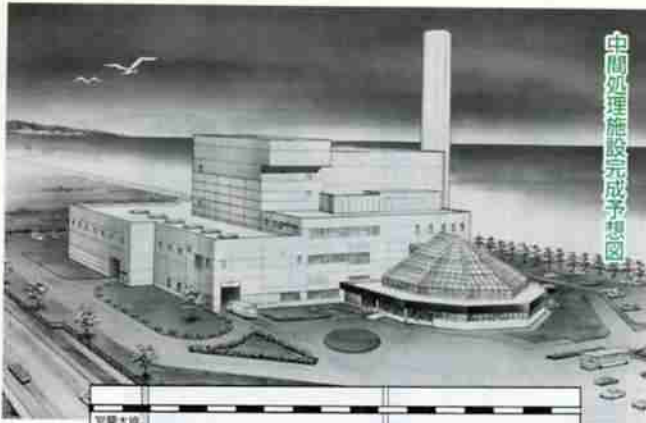
# 新たななごみ処理施設の建設が進められています

問い合わせ  
清掃施設課  
(☎853009)

市は平成9年に、設備の老朽化などが著しい清掃工場（焼却処理施設）と、数年のうちに満杯となる千歳最終処分場に代わる新たなごみ処理施設（中間処理施設・最終処分場）の建設に着手しました。新たなごみ処理施設は、平成9年度から平成11年度までの3力年で整備し、平成12年4月の稼働を目指しています。

## 中間処理施設の建設

新たな中間処理施設として「焼



中間処理施設完成予想図



却処理施設」と「リサイクルプラザ」を現清掃工場横の幸町2丁目5番地1に建設します。

平成9年度は、建設用地の取得、施設の実設計と機械製作などを行い、平成10年の春から本格的な建設工事に着手します。

新しい中間処理施設は、現在の清掃工場を上回る焼却能力やごみの減量・減容化、資源化、再生などの機能を併せ持ちます。

また、ごみの焼却余熱を利用した市民ギャラリー（温室）を併設し、観葉植物などを配置し市民のみなさんが憩いの場として活用できるようにします。

## 焼却処理施設

新しい焼却処理施設は、現在、「燃やせるごみ」として分別されているごみのほか「燃やせないごみ」として処理されているプラスチックなどの高カロリーごみについても、下水道やし尿の処理過程で発生する汚泥を焼却するための助燃剤として「燃えるごみ」に分類し、焼却します。

## リサイクルプラザ

リサイクルプラザは、大きく五つの施設に分かれます。

### ① 破碎処理施設

この施設では「燃えないごみ」や「粗大ごみ」を破碎し、鉄類を回収した後、燃やせるごみは取り除き、不燃物だけを最終処分場に埋め立てます。破碎・選別を行うことで、ごみの減量・減容化とリサイクル（廃棄物の再利用）を図ります。

### ② 資源化施設

この施設では、缶類やびん類などのリサイクルできる「資源ごみ」の有効利用を図るため、缶はスチール缶とアルミ缶に、びんは色

### ③ 再生展示施設

この施設では「粗大ごみ」などの中から、リサイクルが可能な家具・自転車などを修理してリサイクル品として展示し、市民のみなさんに再利用してもらいます。

### ④ 市民ギャラリー

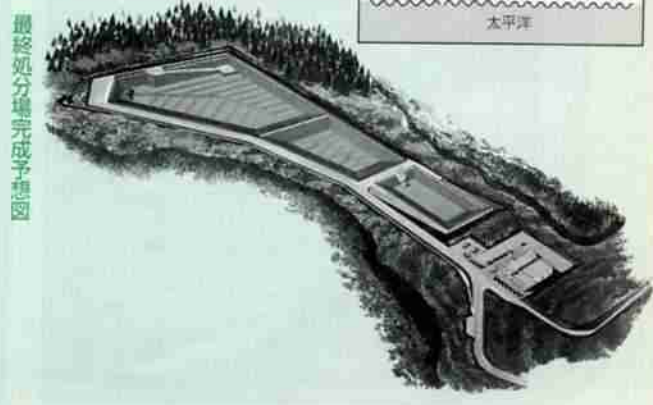
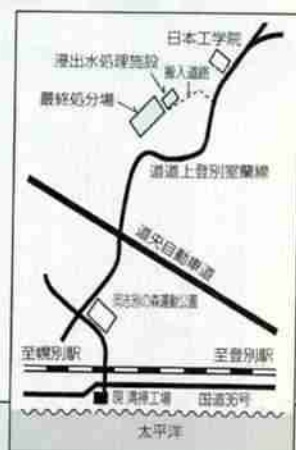
ごみの焼却余熱を利用した市民ギャラリー（温室）を処理施設に併設し、各種団体のイベントや市民のみなさんの憩いの場として開放します。

### ⑤ 高速堆肥化処理施設

この施設では、登別温泉街のホテル・旅館や給食センターなどから多量に出される事業系の「生ごみ」を堆肥化し、製品は市民のみなさんに利用してもらいます。

## 新施設のダイオキシン対策は?

平成9年12月に大気汚染防止法と廃棄物処理法が改正され、新たにダイオキシン類の排出規制値が設けられました。今回、市が計画している新施設では、ダイオキシン類の発生を抑制するための燃焼制御、活性炭吹き込みによるダイオキシン類の吸着、バグフィル



最終処分場完成予想図

## 最終処分場の建設

千歳町23番地に建設する新しい最終処分場は、中間処理施設で処理された焼却残渣（焼却灰など）と破碎不燃物のみを受け入れるので現在より埋め立て処分量は非常に少なくなりそうです。

埋め立て期間は平成12年度から平成26年度までの15年間を予定しています。平成9年度は、建設用地の取得や処分場敷地（搬入道路を含む）の造成、処分場内の汚水を浄化する浸出水処理施設の実設計と機械製作などを行っています。

# キララカ

『自分に挑み続けていきたい』

佐藤 睦 さん (52歳)

(第2回障害者オープンゴルフ選手権全国大会で優勝)

昨年10月25日に栃木県で行われた「第2回障害者オープンゴルフ選手権全国大会」軽度障害の部で優勝した佐藤さんは、23歳のとき交通事故で左足首の腱を切断し、左足首を自由に動かすことができなくなりました。しかし、そんな障害をもとめせず、ゴルフのほかに陸上競技やスキーなど、いろいろなスポーツに挑戦されている佐藤さんに話を聞きました。

## ◎ゴルフを始めたのは

◆「もともと、スポーツには縁のない生活をしていたのですが、け



がをしてからスポーツに目覚め、陸上の100m走や走り高跳びに挑戦し、障害者大会にたびたび出場していました。ゴルフは10年くらい前から始めました。会社の同僚にプロ級の人がいて、身近にすばらしい技術をもつ人がいるのに、教えを請わないと損ではないかと思

って始めたのがきっかけです」

## ◎大会に出たきっかけは

◆「全国のレベルが知れたかったのと、度胸試しの意味もあって出場しました。結果はグロス(※)87で軽度障害の部で優勝、全出場者の中では2位でした」



## ◎これからの抱負をお聞かせください

◆「レベルアップするためには、たくさんグリーンに出た方がいいのでしようが、そうもいきません。次はどれだけスコアを伸ばすことができるかわかりませんが、今年も全国大会に挑戦します。これからも楽しいゴルフを続けていきたいですね」

「障害をもつ方が、さまざまなスポーツに親しめるような機会をつくってほしい」という佐藤さんは、障害をもつ方のスポーツ指導員もされています。気力も体力も十分の佐藤さんのこれからの活躍をお祈りします。

※グロス ゴルフでハンディキャップを差し引かない打数の総計

# 遊遊 自適

常盤静夫さん (69歳)

富士町

『大自然の美を心とネガに焼き付けて』

「山や川、空や海、そして野に咲く花や動物たちを見て、美しいと思える気持ちを持ち続けていきたいですね」と話す常盤静夫さん。

「新日本製鉄を退職する何年前に、登別市文化協会写真部に妻と二人で入部しました。入部する前から家族写真は撮っていました



後もずっと楽しめます。体が動かなくなったら、撮った写真を見て楽しみますよ。だいたい年間にカラーと白黒フィルム合わせて30本くらい撮っています。写真を始め

10年たちました。イメージに近い写真が撮れるようになり

が、本格的に写真を撮るようになったのは妻に勧められて退職金で一眼レフカメラを買ってからです。念願の一眼レフを手にしたときはうれしかったですよ。写真部に加入しているといっても、それ

まで使っていたのはおもちゃみたいなカメラでしたから」と笑う常盤さんは現在、写真部の部長を務めています。

初めのころは動物や漁港を撮ることが多かったのですが、最近では市内の行事や旅行先での美しい風景を撮ることが多いそうです。「写真はカメラさえ持てれば老

自分で納得できる写真というのはなかなか撮れませんね。写真は奥が深いですよ。フィルムにしてもカラーと白黒はそれぞれ違う魅力があります。カラーは紅葉などの色の美し

は強調できますが白黒写真の水墨画のような深みは出せませんね。写真には撮影者の感性が出ます。現在、写真部は高齢者が多いので、若い世代の方に入部していただき、互いに感性を磨いていきたいですね」と語る常盤さんのもう一つの眼はこれからも一瞬の美を追

## 文化・スポーツ振興財団からのお知らせ

### ◎室内ゲートボール大会(無料)

▼月日 2月16日(月)・17日(火)

▼時間 受付8時30分～

▼場所 総合体育館

▼対象 市内に居住または勤務する20歳以上の方

▼申し込み 2月10日(火)までに

一般参加者は所定の用紙で総合体育館、協会加入者は電話で各支部長へそれぞれチーム単位で申し込みください

▼問い合わせ 総合体育館

(☎55552)

### ◎歩くスキー講習会

▼日時 2月22日(日) 受付10時

▼場所 サンライバスキー場(カルルス町)

▼対象 市内に居住または勤務・通学する小学生以上の方

▼受講料(当日持参) 100円

(スポーツ傷害保険料)

※用具は各自で準備してください。

▼申し込み・問い合わせ 2月18日(水)までに総合体育館

(☎55552)

### ◎スポーツ講演会(無料)

▼日時 2月19日(木) 開場14時、開演15時

▼場所 市民会館中ホール

▼講師 中村昌枝さん(東京オリンピックバレーボール金メダリスト)

▼演題 『金メダル獲得までの道のり』

▼問い合わせ 文化・スポーツ振興財団(☎1116)

▼申し込み 2月15日(日) 受付9時、開会式9時30分

▼場所 市民会館中ホール

▼内容 ◎第一部：講演『男と女がともに生きていくためのまちづくり』講師田中佐一郎さん(室蘭民報社編集相談役)

◎第二部：驚別婦人会、片倉町内会婦人部による提言

▼問い合わせ 千葉さん(☎2486)または企画広報室(☎1122)

10代の子を持つ親のための『思春期セミナー』(無料)

思春期の子どもの心理や行動の特性、親の望ましい援助の在り方などを考える講演会です。

▼日時 2月19日(木) 13時30分

▼場所 市民会館視聴覚室

▼定員 30人(申込順)

▼講師 菊池浩光さん(日鋼記念病院臨床心理科長)

▼申し込み・問い合わせ 2月5日(木)から13日(金)までに社会教育課(☎1100)

# 所得税の確定申告 市・道民税の申告を忘れずに!

2月16日(月)から3月16日(月)まで申告・相談受付

## 所得税の確定申告

◎給与所得のある方(サラリーマンなど)

給与所得のみの方は、通常、毎月の給与やボーナスなどから所得税が源泉徴収され年末調整を受けていますので申告の必要はありませんが、次に該当する方は確定申告をしなければなりません。

◆平成9年中の給与の収入金額が、2千万円を超える方

◆給与所得や退職所得以外の所得(公的年金などの雑所得)金額が20万円を超える方

◆給与を2力以上から受けている方で、主たる給与以外の所得の合計額が20万円を超える方

また、次に該当する方は、確定申告をすることで、源泉徴収されていた所得税が還付される場合があります。

◆年の途中で退職し、年末調整を受けていない方

◆医療費控除を受ける方(所得の5%が10万円のいずれか少ない金額以上の医療費を支払った場合、その超えた金額が控除の対象となります)

◆住宅取得等特別控除を受ける方(一定の要件を満たす新築・増改築・中古住宅の購入)

◆国や地方公共団体などに1万円以上の寄付をした方

◎公的年金(雑所得)などのある方

厚生年金・国民年金・共済年金など公的年金の受給の際に、所得税が源泉徴収されている方で、社会保険料控除(国民健康保険税など)・生命保険料控除・扶養控除などの各種控除を受けられる方は、確定申告をすることで源泉徴収されていた所得税が還付される場合があります。

◎事業・不動産・譲渡・一時所得のある方

事業所得(営業など)・不動産所得(地代や家賃など)・譲渡所得(土地や建物を売って得た所得など)・一時所得(生命保険契約に基づき支払われた一時金など)のある方は、これらの所得金額の合計額が所得控除額の合計額を超える場合、確定申告をしなければなりません。

税務署から確定申告書が送付された方や日時・会場の指定を受けた方は、その確定申告書を持参し、指定の会場で申告してください。それ以外の方については、室蘭税務署または次の会場にてお願いします。

### ◎税務署出張納税相談日程

▼月日 2月18日(水)・20日(金)

▼時間 9時30分～12時、13時～16時

▼会場 鉄南ふれあいセンター(☎2966)

※なお、還付申告は市税務課においても1月から随時受け付けています。

確定申告についての問い合わせ

室蘭税務署(室蘭市入江町1-13 ☎24151)

## 市・道民税の申告

平成10年1月1日現在、登録別市に住んでいる方または住んでいた方で、前年(平成9年1月から12月)に収入のあった方は市・道民税の申告をしなければなりません。

ただし、次に該当する方は申告の必要はありません。

- ① 所得税の確定申告をした方
- ② 勤務先で年末調整を済ませた方で給与所得以外に所得のない方
- ③ 収入が公的年金だけで次に該当する方

## 登別市勤労者特別融資制度をご利用ください

市は、市内に居住する勤労者に生活上必要な資金の融資のあっせんをしていますので、ご利用ください。なお、融資の取り扱いには、北海道労働金庫室蘭東支店・室蘭支店で行っていますので、詳しくは問い合わせください。

### ◎登別市勤労者特別融資制度

融資対象	市内に居住する勤労者で、自己の生活安定のための融資の必要がある方	融資金種別	利率	償還期間	使途		
融資金種別	資金区分	土地住宅資金	500万円	4.05%	30年以内	・住宅購入 ・土地購入(居住用)	
		生活資金	一般	100万円	4.33%	10年以内	生活に要する費用
融資金種別	資金区分	生活資金	特別	30万円	1.52%	3年以内	生活に要する費用(季節労働者など)
		教育資金	150万円	3.09%	6年以内	勤労者または勤労者が扶養する方が高校・大学などに要する費用	
信用保証		信用保証協会の保証および北海道労働金庫の定めによる保証					

※利率は平成10年2月1日現在のものです。

## 市役所4力所の窓口業務を毎週木曜日19時まで延長しています

平成9年8月から平成10年1月まで、試行的に本庁舎の一部

▼問い合わせ 北海道労働金庫  
室蘭東支店 (☎3611)、  
室蘭支店 (☎1975)

の窓口業務を毎週木曜日に限り延長していましたが、3月まで延長を継続しますのでご利用ください。なお、取り扱う業務は次のとおりですが、国民年金の加入手続きで、社会保険事務所に確認が必要なものについては取り扱いきない場合がありますので、詳しくは担当課にお問い合わせください。

延長窓口	場 所	時間延長で取り扱う主な業務	電話番号
市民課	本庁舎1階	戸籍・住民票(転入・転出届を含む)・印鑑証明関係、出生・死亡届、外国人登録など	☎1855
保険年金課	本庁舎1階	国民健康保険・国民年金加入などの手続き、医療費助成申請の手続きなど	☎1771
税 務 課	本庁舎1階	各種証明(納税証明・課税証明など)	☎1155
建 築 課	※本庁舎3階	市営住宅の入居申請、退去届など	☎4399

※建築課窓口をご利用の際は市民課窓口に申し出てください。

## 金融環境変動に関する窓口をご利用ください

北海道は、近年の金融環境の変動に伴い創設した「金融環境変動緊急対策特別資金」や中小

▼問い合わせ 行政管理課 (☎5109)

企業の経営などに関する相談窓口を開設していますのでご利用ください。

## 平成10年度 登別市職員募集

市は、養護老人ホーム恵寿園の寮母を募集します。

▼職種・募集人員 寮母1名

▼試験日 2月22日(日)

▼試験内容 教養、作文、面接

▼受験資格 昭和42年4月2日以降に生まれた方で、高卒以上の介護福祉士資格取得者(平成9年度中取得見込も含む)

▼申込期間 2月2日(月)～13日(金)

※詳しくは問い合わせください。

▼申し込み・問い合わせ 職員課 (☎1132)

## 第38回 登別市内婦人大会 参加者募集

▼日時 2月25日(水) 受付9時、開会10時

▼場所 市民会館中ホール

▼対象 市内に居住する女性

▼テーマ 『自らの生き方を主体的に実践しよう』

▼内容 講演会、合唱の集い、研修発表など

▼参加料 400円(昼食代を含む)

▼申し込み・問い合わせ 2月15日(日)までに藤原さん (☎8650)

●8年1月1日以前に生まれた方で年金収入額が26万6千666円以下の方  
●昭和8年1月3日以降に生まれた方で年金収入額が10万円以下の方

## ④収入がなく扶養親族になっている方 市・道民税申告相談日程

会 場	月 日	受付時間
登別市役所第2庁舎 議 議 室	2月16日(月)～3月16日(月) (休日を除く。ただし、2月21日(土)・22日(日)・28日(土)・3月1日(日)は市役所本庁舎1階で10時から16時まで、市・道民税、所得税の申告相談を受け付けます)	9:30   11:30
	登別公民館	2月23日(月)・24日(火) 3月5日(木)・6日(金)
登別観光会館(登別観光協会)	2月25日(水)	
婦人センター	2月26日(木)・27日(金)	

※申告がない場合は、児童手当・保育所の入所・就学援助・公営住宅などの公的機関への手続きや、金融機関などへの各種申請に必要な所得・課税証明書の発行ができなくなりますので、忘れずに申告してください。

## 市・道民税についての問い合わせ

税務課市民税係 (☎1155)

## 所得税、市・道民税の申告に必要なもの

- ①平成9年中の収入金額を証明する書類
- 給与所得や公的年金などの源泉徴収票(原本)
- 報酬・料金などの受給額を証明する書類
- 事業収入・不動産収入などのある方は、収入・支出の帳簿や領収書
- ②平成9年中の社会保険料などの支払いを証明する書類
- 国民健康保険税・国民年金保険料の領収書(平成8・9年度分)など
- 生命保険料控除証明書
- 損害保険料控除証明書
- ③配偶者に収入のある方はその収入を証明する書類
- ④医療費控除を受ける方はその領収書・証明書(かかった病院ごとにまとめて持参)
- ⑤住宅取得等特別控除(所得税のみ)を受ける方
- 登記簿謄本(写)
- 工事請負契約書(写)または売買契約書(写)
- 住民票
- 金融機関で発行する借入金の年末残高証明書
- 家屋の改築の場合は、建築士から交付された増改築などの工事証明書
- ⑥朱肉を使う印鑑
- ⑦所得税の還付を受ける方
- 本人名義の金融機関・支店名・口座番号

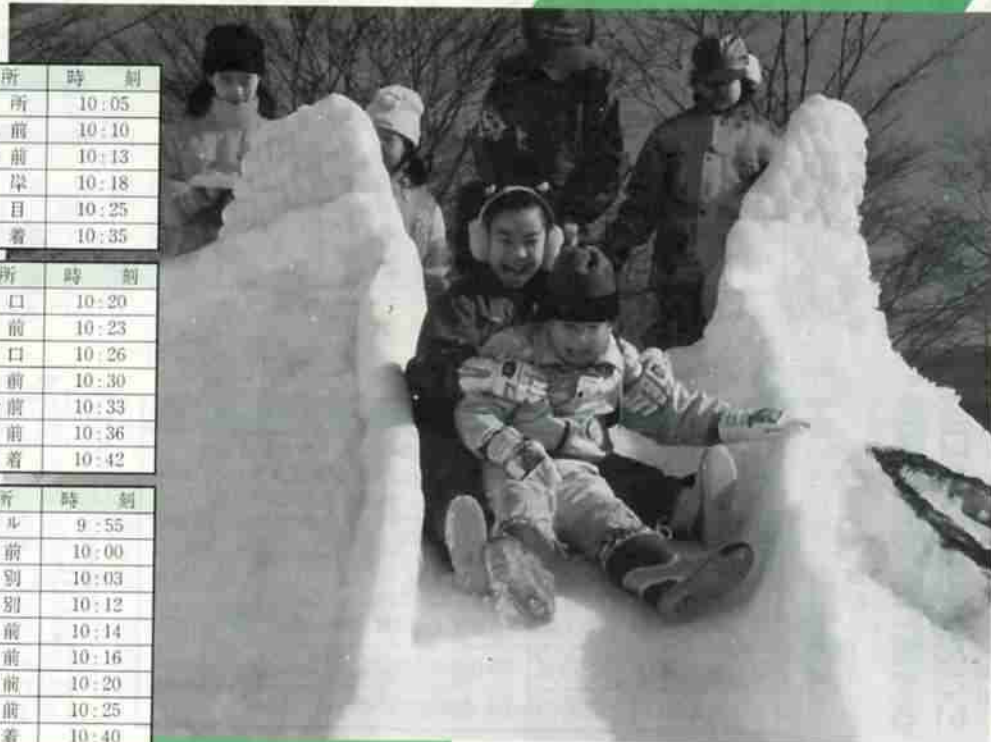
川上公園行きの無料バスを運行します

停留所	時刻
鷺別支所	10:05
鷺別小学校前	10:10
はまなす団地前	10:13
西富岸	10:18
緑町2丁目	10:25
川上公園着	10:35

停留所	時刻
上鷺別入口	10:20
若草小学校前	10:23
若草公園入口	10:26
富岸小学校前	10:30
登別若山営業所前	10:33
桜木団地前	10:36
川上公園着	10:42

停留所	時刻
温泉ターミナル	9:55
温泉中学校前	10:00
中登別	10:03
登別	10:12
登別小学校前	10:14
富浦駅	10:16
すずらん団地前	10:20
幌別東小学校前	10:25
川上公園着	10:40

停留所	時刻
千歳町4丁目	10:15
幌別小学校前	10:18
中央町5丁目	10:30
市民会館	10:25
川上公園着	10:30



# このまちが好き

のほりべつの冬を満喫！

天からの美しい贈り物が、ふるさと登別を真っ白に染めています。深深と降り積もる雪は、子どもたちにとって、冬にしか会えない大切な友達です。

登別市ふるさと広場実行委員会が主催する「ふるさと冬まつり」は、そんな友達の訪れを楽しみにしていた子どもたちへの、とっても楽しい贈り物。

## ◎第9回ふるさと冬まつり

▼日時 2月14日(日) 11時～14時

▼場所 川上公園(桜木町)

▼内容 ジャンボ豆まき、ジャンボすべり台、歩くスキー体験、昔の遊びコーナー(連だこや竹スキーなど)、焼いて食べてコーナー(うどんやおでんなど)、せんべい焼き実演コーナーなど

※川上公園には、十分な駐車スペースがありませんので、車で来られる方は市民会館に駐車し、無料バスをご利用ください。

## ▼市民会館発の無料バス

- ① 10時25分発
- ② 10時45分発
- ③ 10時50分発
- ④ 11時10分発

▼問い合わせ 社会教育課

(☎1100)

## となりまち

# ホットライン

## 室蘭市

『97ブラチスラヴァ世界絵本原画展』にお越しを

スロバキア共和国の首都ブラチスラヴァで、2年に一度開かれる伝統ある絵本原画の巡回展で、日本国内では室蘭市を含め8カ所で開催されます。この機会にぜひ、親子でご鑑賞ください。

▼日時 2月25日(水)～3月12日(水) 10時～19時

▼会場 NHK室蘭放送局プラザ

▼入場料 (前売券) 大人加円、小・中学生300円、親子ペア券800円(当日券) 大人800円、小・中学生400円、親子ペア券1千円

※入場券については、実行委員会にお問い合わせください。  
▼問い合わせ 97ブラチスラヴァ世界絵本原画展実行委員会 堀野さん (☎062554)

## 伊達市

開拓記念館で優美なおひな様をご覧ください

3月3日はひな祭り。伊達市開拓記念館では、日本最古の座りひなといわれる江戸時代初期のものや、高さ60センチもある同時代中期の享保ひな、人形師・岡田次郎左衛門作の次郎左衛門ひななど、数々の貴重なひな人形を展示しています。

このひな人形は、旧仙台藩重臣伊達家のお姫さまの道具類の一つで、家宝として代々保存されてきたものです。3月3日(火)は開拓記念館を無料開放しますので、この機会にぜひ、ご家族おそろいでご鑑賞ください。

▼開館時間 9時～17時

▼問い合わせ 伊達市開拓記念館

(伊達市梅本町62 ☎0142-22061)

